





現時点でも高山ダムの洪水調節容量と不特定容量の堆砂量は1,175千m<sup>3</sup>あり、今後、更なるダムの機能の低下が危惧されます。

そのため、維持管理費用（ライフサイクルコスト）の縮減を考えた堆砂対策として、川上ダムに代替容量を確保し、計画的に堆砂除去を行っていくことにより、より長く、より確実にダムの機能を保持できると考えています。

〔質問3〕（残土処分）

堆砂掘削に伴う残土処分は、高山ダムだけでも相当な量となると思われませんが、この処分方法を具体的にお示し願います。

回答

堆砂掘削に伴う土砂については、下流への土砂還元や盛土材等の資源としての有効利用を考えています。

（以上）